

「美しい花を見せるだけでなく、自然の面白さを伝え、生命とは何かを考えてもらう場所になければ」。昨春から兵庫県三田市の県立人と自然の博物館長を務める岩槻邦男さん(69)が、国内外の植物園を紹介しながら、課題を指摘する「日本の植物園」(東京大学出版会)を出した。



同県柏原町生まれ。裏山で見つけたシダに興味を抱き、京都大へ。京大教授をへて東大に移り、小石川植物園を生物多様性の研究拠点として再生させた。国際植物園連合会長も務め、「ミスター植物園」とも呼ばれる。

日本の植物園予算が、英王立キュー植物園より2けたも少ないことなどを本で指摘。一方で、「それを言い訳に(国内の植物園は)やれることから逃げてきた」と厳しい。

15日で70歳。シダの国際学会に出席するため、11日に英国に出发した。「植物園仲間がパーティーをしてくれるぞうで、楽しみです」(杉本潔)

植物園 辛口批評の一冊